

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について（K S 2 7）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で18回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

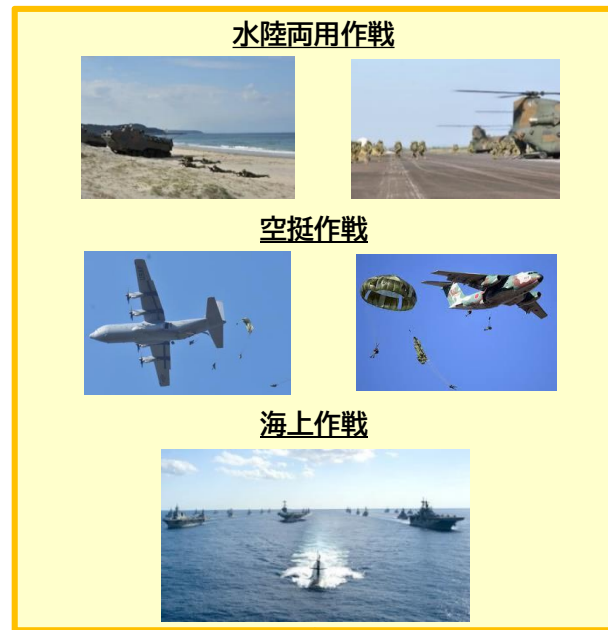
【演習の実施期間】

令和8年10月19日（月）から10月29日（木）までの間（本実施期間の前後 約1週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができます。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について



- その他関連する訓練（日本全国各地）**
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
 - 陸上作戦
重要施設等防護（基地警備等）
 - サイバー攻撃等対処
 - 宇宙作戦
 - 統合電磁波作戦
 - 統合通信



※ 演習前後の期間において、仏艦艇が補給・休養のためホワイト・ビーチ地区に寄港する予定です。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）の 沖縄県内における訓練について

3

本演習において沖縄県内で実施する訓練は、

- ①統合防空ミサイル防衛（戦闘機部隊の機動展開訓練）
- ②航空作戦（目標搜索訓練・実弾射撃訓練等）
- ③統合通信訓練
- ④統合後方補給（輸送・補給/衛生/その他）
- ⑤重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練、滑走路（被害）復旧訓練、C B R N訓練）
- ⑥海上作戦（情報収集訓練）及び日米豪哨戒機部隊による部隊間交流

を予定しています。

なお、その他訓練を予定しておりますが調整中のため、整い次第追加する予定です。

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

① 統合防空ミサイル防衛（戦闘機部隊等の機動展開訓練）

航空自衛隊の戦闘機部隊等が四国沖で実施される共同統合対艦戦闘に参加し、それぞれの対処要領について演練します。あわせて、航空自衛隊の基地が使用できない事態を想定し、戦闘機等が徳之島・奄美空港及び嘉手納飛行場に一時的に展開する訓練を計画しています。

- 【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木） ※事前に準備期間を設定（嘉手納飛行場においては、航空自衛隊の部隊が10月1日から同月31日まで航空自衛隊の戦闘機の展開に必要な資機材準備・撤収を実施します。）
- 【参加部隊】陸上自衛隊：高射特科部隊 海上自衛隊：イージス艦 航空自衛隊：航空・高射・警戒管制・輸送機各部隊
米軍：米空軍、米海軍等
- 【嘉手納飛行場展開】人員約75名 F-15戦闘機×4機（最大）、C-130H又はC-2輸送機×1（最大） 車両器材等



沖縄県内で実施を検討している訓練内容

② 航空作戦（目標搜索訓練・実弾射撃訓練等）

沖縄東海上において、日米共同の救難機、攻撃ヘリコプター、多用途ヘリコプター及び輸送ヘリコプターによる共同編隊飛行・目標搜索訓練を実施する計画です。

併せて、日米共同による攻撃ヘリコプターの実弾射撃訓練等を鳥島射爆撃場、出砂島射爆撃場及び沖縄東側海上で実施する計画です。

【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木）

【参加部隊】

（共同編隊飛行）陸上自衛隊：西方航空隊、第1ヘリコプター団、北部方面航空隊、航空学校

AH-64、AH-1S、UH-60、UH-2、CH-47、V-22、OH-1等

米 軍：第1海兵航空団、AH-1Z、UH-1Y、CH-53、MV-22等

（目標搜索訓練）航空自衛隊：南西航空方面隊、U-125A、UH-60

海上自衛隊：航空集団、US-2

陸上自衛隊：西部方面航空隊、AH-64、UH-60

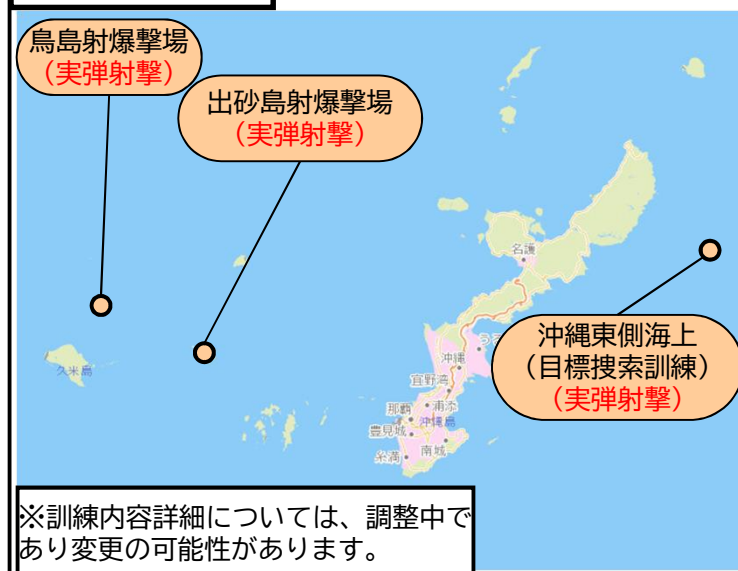
米 軍：米海兵隊、米空軍、UH-1Y、CH-53

（ヘリコプター実弾射撃）陸上自衛隊：西方航空隊、第1ヘリコプター団、北部方面航空隊、航空学校、第15ヘリコプター隊

AH-64、AH-1S、UH-60、UH-2、CH-47、V-22等

米 軍：第1海兵航空団、AH-1Z、UH-1Y、CH-53等

訓練予定場所



訓練イメージ



沖縄県内で実施を検討している訓練内容

③ 統合通信訓練

陸上自衛隊の通信部隊が嘉手納飛行場に展開し、通信回線を構成する訓練を実施する計画です。

【期 間】令和8年10月19日（月）～27日（火） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊：約20名（西部方面システム通信群、西部方面後方支援隊、無線搬送端局（中継）装置3号×1）

【実施場所】嘉手納飛行場

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



沖縄への移動については、人員、通信器材、車両等はフェリーを使用

訓練イメージ



無線搬送端局（中継）装置3号

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

④ 統合後方補給（輸送・補給/衛生/その他）

嘉手納飛行場において、日米共同の衛生訓練を実施する計画です。

【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊：約10名（西部衛生隊）

米 軍：約30名（海兵隊、米海軍、米空軍、C-130、C-17）

独 軍：約20名（A400）

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



訓練イメージ



沖縄県内で実施を検討している訓練内容
⑤ 重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練）

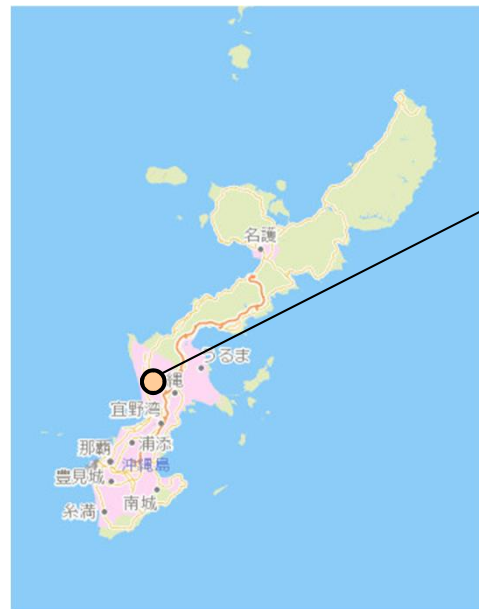
陸上自衛隊の部隊が嘉手納飛行場において基地警備に係る机上訓練を実施する計画です。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～10月29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】 陸上自衛隊：約20名（第15旅団）
米 軍：約20名（米海兵隊、米空軍、米陸軍）

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



嘉手納飛行場

訓練イメージ



基地警備訓練



基地警備訓練

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

⑤ 重要施設等防護（滑走路（被害）復旧訓練）

陸上自衛隊及び米軍が嘉手納弾薬庫にて、滑走路被害復旧訓練を実施します。なお、爆破薬を使用した訓練は実施しません。

【期 間】 令和8年10月22日（木）～10月26日（月）※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
 【参加部隊】（嘉手納弾薬庫）陸上自衛隊：約70名（第1施設団 第15施設隊 施設学校）
 米 軍：約90名（第171海兵航空支援飛行隊、第5建設大隊、第18航空団）

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



訓練イメージ



沖縄県内で実施を検討している訓練内容

10

⑤ 重要施設等防護（C B R N訓練）

C B R N※事案が発生した場合を想定し、米軍施設内において、C B R N対処の一連の行動（汚染傷病者の除染、病院への搬送訓練、汚染地域・装備品の検知・除染等）に関する訓練を嘉手納弾薬庫で行います。

なお、訓練間、武器は携行しますが、実弾・空包等は使用しない予定です。

※ Chemical（化学剤）、Biological（生物剤）、Radiation（放射線）、Nuclear（核）の頭文字をとったもの

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木）※ 前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊：約80名（中央特殊武器防護隊、第15後方支援隊衛生隊、車両機材等

米海兵隊：約100名（第3海兵師団、第3海兵兵站群、第1海兵航空団、第31海兵遠征部隊、車両機材等）

【実施地域・規模】嘉手納弾薬庫（人員約180名、車両器材等）

訓練予定場所【調整中】

嘉手納弾薬庫



訓練イメージ



現況確認・状況把握



検体の授受



負傷者の除染



負傷者の搬送
(アイソレータ)



負傷者の搬送(担架)



負傷者の収容



汚染地域の除染



装備品の除染

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

⑥ 海上作戦（情報収集訓練）及び日米豪哨戒機部隊による部隊間交流

10月19日（月）～29日（木）、海上自衛隊、米海軍及び豪空軍の哨戒機部隊が四国沖及び沖縄東方海域において海上作戦（情報収集訓練）を実施します。同期間中、豪空軍P-8が嘉手納飛行場に飛来し、同基地から離発着を行う計画です。また、訓練期間中、本訓練に参加する米海軍及び豪空軍と、集合写真撮影を含む部隊間交流を実施予定です。

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木）※前後に数日間の展開準備・撤収期間あり

【参加部隊】

- 海上自衛隊：約20名 哨戒機（P-1、P-3）×各1機
- 米海軍：約20名 嘉手納基地所在 哨戒機（P-8A）×1機
- 豪空軍：約30名 哨戒機（P-8A）×1機

撮影予定場所



撮影イメージ



参加部隊



海自 P-1



米海軍 P-8A

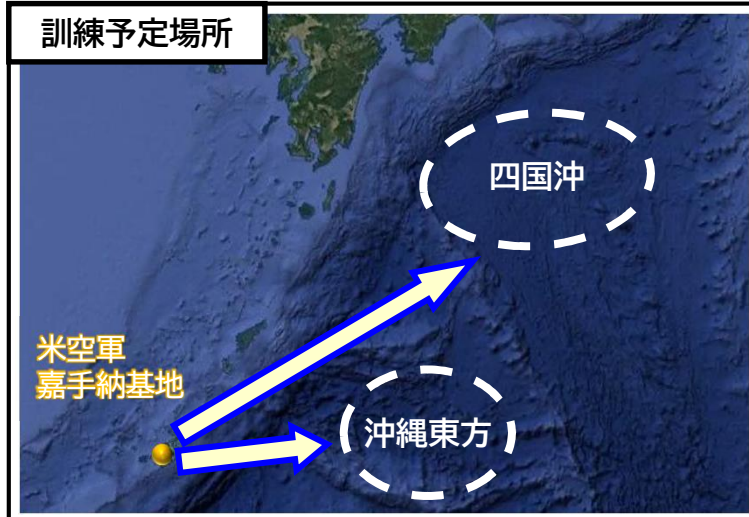


海自 P-3



豪空軍 P-8A

訓練予定場所



※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。